

稲光会報

第34巻 46号

平成23年8月1日発行
編集 早稲田大学稲光会
発行者 植竹 清
題字 滝口 宏

SPECIAL INTERVIEW



お元気ですか！ いま、日本中が「元気を出そう！」を合言葉に節電の夏を乗り切ろうとしています。稲光会の元気人間といえばこの人、金子誠顧問。大正15年生まれの85歳。月に2回のゴルフコンペに小唄の稽古。地元日暮里では町内会長もつとめるスーパーじいちゃん。今回は稲光会はもちろん、関東学連でも最年長の「生き字引」に、植竹幹事長（写真）が、学連発足当時の事など、貴重な話を伺いました。



Q 今年が創部65周年ですが、創部のころの様子は？
金子 戦後すぐ「学校は剣道に専らすべからず」とのマッカーサー指令で剣道ができなくなり、フェンシングをやるうとの声が高まり、昭和21年夏稲門剣友会の総会でフェンシング部の創立が認められたのが始まり。葦原、小藤、吉田、黒田さんらが基礎を固めた。

Q 長い間稲光会長をされていましたが思い出は？
金子 そりゃ50周年記念パーティー開催だよ。創部のころを思い出し、よく50年続いてきたな、と思った。他校の先輩も本当によろこんでくれたなあ。慶応の北原先輩がお祝いのこも樽を届けてくれたり、病身ながら生花を持って駆けつけてくれた竹内由江さん等々。今でも覚えているよ。

Q 商売や趣味等は？
金子 佃煮の「中野屋」はもうすぐ創業90年。息子の三代目に引き継ぎ、私は店番をやっている。好きな小唄とゴルフ（年20回）を楽しんでいます。町内会長を12年、老人倶楽部（諏訪台くれない会）会長を10年、けっこう忙しくて、年を取るのを忘れていたね。

Q 後輩に望むことは？

金子 そうだね・・・（しばらく考えてから）現役部員は高校時代からフェンシングが強く、入部後すぐにそれなりの成績をあげてほしい。欲を言えば、フェンシング馬鹿にならないよう勉強するのはもちろんのこと、一般常識をもっと身につけてほしい。若手会員はもともと稲光会の活動に参加し、部員のバックアップと75周年、100周年に向けて引っ張ってほしいね。

OBの近況報告



現役時代の青山先輩。上は昭和28年のリーグ戦初優勝時（エペ）。右は今も変わらず元気な先輩の近影。



若い会員諸兄はご存じないかもしれませんが、青山先輩は昭和29年全日本選手権エペ団体初優勝時の主将、第一期早稲田黄金期を築き上げました。「私は高校まで山岳部にいたが剣岳で転落、背負っていた芋や野菜を入れたリュックが衝撃をやわらげ九死に一生、助かった。」

これで子供のころから大好きだった山登りを諦めフェンシング部に入った。今年11月には80歳になる。高校までは登山、大学ではフェンシングで鍛えたため、加齢による衰えはあっても非常に元気。これからも社長としてがんばっていく。若い後輩もロンドンオリンピックに出場し、メダルをぜひとってほしい」（談）

昭和30年卒 青山甲子郎

夏期合宿のご案内

今年も例年通り夏期合宿を行います。お時間のあるかたは、ぜひお越しください。ご指導、激励、よろしくお願いいたします。

▼期間 9月13日～20日
▼場所 国民宿舎やまびこ荘
群馬県多野郡上野村檜原888
電話 0247・59・2027

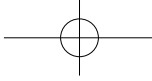
五輪強化選手支援にも協力

日本フェンシング協会では2012年ロンドンオリンピックに向けて選手強化策実現に1億8000万円の資金が必要と想定、関係機関から1億2000万円の助成金を予定、残りの6000万円を確保し、選手の強化活動を円滑にすすめるよう計画しています。稲光会としてもロンドンオリンピックを目指して練習に励んでいる会員がおられますので、他校OB会の先陣を切って10万円の寄付をいたし

訃報

三浦義雄会員（昭和39年卒）が今年2月、お亡くなりになりました。現役時代は華麗なサーブルでならし、その卓越した理論は後輩を心服させ、また定年後は同期の植竹幹事長を補佐して稲光会の活動に力を注がれていました。享年69歳。心よりご冥福をお祈りいたします。





(2)

リーグ戦

入替戦、男子サーブル勝利も、女子エペ無念の二部降格



低調なリーグ戦だった。優勝なし。少なくとも男子エペと女子フルールは優勝を狙えるメンバーをそろえていた。しかし心の準備、いわゆるチームワーク、相手を上回る闘争心といった面で欠けるものがあり、気持ちだけが空回りする試合展開に終始してしまった。

入替戦は2種目。男子サーブルは予想通りの展開。スペシャリスト山口の復活でチームに芯が通り、最後の一本にまでもつれこむ接戦とはなかったが、確実に勝利をつかんだ。対照的に女子エペはプレッシャーに揺らぐ一戦だった。二部落ちの恐怖に手足がすくみ序盤のリードを守り切れない不甲斐ない一戦。(監督・川名宏美)

【64回関東学生フェンシングリーグ戦】

(4月28日～5月11日 東京体育館 台東RS)

▽男子フルール
結果Ⅱ第4位
早稲田45・31中央
早稲田45・41法政
早稲田45・27専修
早稲田36・45明治
早稲田33・45日大
▽男子サーブル
結果Ⅱ2部優勝
早稲田45・29慶応
早稲田45・24立教
早稲田45・18青学
早稲田45・32学習院
早稲田45・22拓殖
▽男子エペ
結果Ⅱ準優勝(王座決定戦出場)
早稲田43・45法政
早稲田45・21専修
早稲田39・36中央
早稲田45・30立教
早稲田45・44日体大
▽女子フルール
結果Ⅱ準優勝(王座決定戦出場)
早稲田45・30専修
早稲田37・39日大
早稲田44・33法政
早稲田45・33日体大
早稲田41・28日大
▽女子エペ
結果Ⅱ第6位
早稲田41・37東女体大
早稲田18・22専修
早稲田38・43日大

早稲田35・31日体大
早稲田19・30法政
▽女子サーブル
結果Ⅱ準優勝(王座決定選出場)
早稲田45・41法政
早稲田45・18日体大
早稲田39・45日大
早稲田45・32東女体大
早稲田45・42専修
◎入替戦(5月30日 国立科学スポーツセンター)
▽男子サーブル 1部昇格
早稲田45・44明治
▽女子エペ 2部降格
早稲田20・24日体大
▽王座決定戦(6月11、12日 大崎町体育館)
▽女子フルール 団体2位
▽男子エペ 団体 4位
▽女子サーブル 団体3位
【第18回JOCジュニアオリンピックカップ】(1月7日～10日・駒沢オリンピック公園)
▽男子フルール 第3位 鬼澤大真(社会学・2年)
▽女子サーブル 第5位 真所美莉(スポ・2年)
【第23回西日本フェンシング選手権大会】
優勝 鬼澤大真(社会学・2年)
【第7回剛毅杯】(厚生年金体育館)

その他の試合結果

▽男子フルール 優勝 北川隆之介(スポ・2年)
▽男子エペ 第2位 西森健太(教育・1年)
第3位 藤井祥万(理工・1年)
▽男子サーブル 第5位 佐々木勇歩(スポ・1年)
▽女子フルール 第6位 渡辺咲(教育・1年)
▽女子フルール 第2位 安富結(スポ・1年) 第3位 真所美莉(スポ・2年) 第3位 神田真希子(スポ・1年)
【第26回ユニバーシアード大会代表選考会】(国立スポーツ科学センター)
▽男子フルール 第2位 鬼澤大真(社会学・2年)
▽女子フルール 第2位 平石典子(教育・3年) 第7位 真所美莉(スポ・2年)
▽男子エペ 第4位 荻原宏樹(スポ・4年)
女子エペ 第3位 田村須美礼(スポ・3年)
※鬼澤大真、平石典子、ユニバーシアード日本代表に決定
【2011年東京都選手権大会】(5月14・15日、5月21・22日 世田谷大蔵第2運動場)
▽男子フルール 優勝 鬼澤大真(社会学・2年)
▽男子エペ 第3位 荻原宏樹(スポ・4年)

新 人 紹 介

①氏名②生年月日③出身高校④学部⑤主な競技歴⑥抱負

① 佐々木 勇歩 (ささき ゆうほ) ② 県立沼津東高校 ③ スポーツ科学部
部スポーツ科学科④サーブル、フルール⑤09年近畿まほろば総合体育大会ベスト8(サーブル)⑥まほろほの新人戦で優勝すること、関カレベスト8入り

① 谷口 裕明 (たにぐち ひろあき) ② 香川県立三本松高校 ③ スポーツ科学部
学部スポーツ科学部④フルール⑤10年総体5位⑥インカレで優勝を狙っています。

① 藤井 祥万 (ふじい しょうま) ② 早稲田高校 ③ 創造理工学部 総合機械工学科④エペ⑤ワセダクラブ出身、09年JOC杯エペ4位⑥エペの全てを吸収し、大成を目指します。

① 船山 佳穂 (ふなやま かの) ② 県立米沢興譲館高校 ③ 教育学部数学科④サーブル⑤10年ユースオリンピック最終選考会1位⑥個人団体とも必要とされる選手になれるようがんばります。

① 神田 真希子 (かんだま きこ) ② 県立東葛飾高校 ③ スポーツ科学部④サーブル⑤09年全日本サーブルベスト16、11年剛毅杯3位⑥早稲田以外にも目を向け、広い視野に立って取り組んでいきたい。

① 甘粕 貴大 (あまかす たかひろ) ② 神奈川県立サレジオ学院高校 ③ 社会学部社会学科④サーブル⑤初心者⑥はやく皆に追いつき、追い抜けるように頑張ります。

① 安富 結 (やすとみ ゆい) ② 香川県立三本松高校 ③ スポーツ科学部④サーブル⑤10年ワールドカップ(シンガポール)カデ3位⑥充実した練習環境に満足しています。目標は全国大会での優勝です。

① 西森 健太 (にしもり けんた) ② 香川県立三本松高校 ③ 教育学部④エペ⑤11年JOC杯8位、11年剛毅杯2位

① 渡辺 咲 (わたなべ さき) ② 大分県立岩田高校 ③ 文学部文学科④フルール⑤JOC杯ジュニア⑦位⑥小学校1年のときから続けているので、これからも親に感謝の気持ちを忘れず、大事に過ごしていきたい。



全日本少年大会、中学フルール男女とも優勝
こんにちわ、ワセダクラブです。私たち大学のお兄さん、お姉さんの活躍に負けないよう練習に、試合に、頑張っています。平成23年度前半(の主要大会)での成績をまとめました。

ワセダクラブ試合結果

【JOCジュニアオリンピック大会】(1月・駒沢体育館)
▽カデ男子フルール 第2位 松山恭助
▽女子フルール 第7位 浅野早紀
▽女子サーブル 第8位 今井良美

【東日本少年大会】(5月・台東RS)
▽中学生男子フルール 優勝 松山恭助
▽女子フルール 7位 村松花

【全日本少年大会】(7月22日・24日・台東RS)
▽中学生男子フルール 優勝 浅野早紀
▽中学生男子エペ 5位 西澤樹
▽中学女子エペ 7位 村松花

大会役員川名監督から優勝杯を受ける松山恭助君(東日本少年大会)

